

ロータリー月間 11月:ロータリー財団 12月:疾病予防と治療

11月13日例会より

『松岡領主戸沢政盛の生涯』

<卓話> 小森 勇一 会長

常陸国多珂郡松岡領主 戸沢政盛の生涯

日光東照宮に行き、陽明門の階段の前の境内、三猿の彫り物のある神厩舎(左の建物)の前の所である。ここに、常州 多珂郡松岡領主戸沢右京」と刻まれている灯籠がある。これは、高萩地方の殿様となった、戸沢政盛が奉納したもので、松岡という地名が全国に知られたのは、そのときからである。今から、402年前の江戸時代、元和3年1617年4月17日に建立された灯籠である。

その1年前の朝、徳川家康は亡くなった。1年



が過ぎ16日夜、「東照大権現」と追号し、この17日、盛大に神輿御祭が行われた。このことは、松岡領主の家康との関係を示している。

1. 松岡領主 戸沢政盛

戸沢政盛が松岡領主となった経過を、新聞記事

のように並べてみると、1602年慶長7年5.8京都の伏見の佐竹義宣よしのぶ邸に、使者、領地没収、出羽への国替えを申し渡す。まっすぐ秋田に行くよう命令。7年6,9:水戸城受け取りの使者到着 7.11.11:戸沢政盛に領地村附の知行覚が渡される

多珂郡33000石 茨城郡小川で7000石。多珂郡33000石茨城郡小川で7000石 1605年慶長10.6.10:戸沢氏、小川城に入る。

1606年慶長11.9.7:秀忠の許可を得て、松岡城の築城を始める。

1607年慶長12.4:松岡城完成 竜子山城でなく松岡城とする。

1609年慶長14:安盛を政盛と改姓、従5位下右京亮に叙せられる。

1610年慶長15.4.10:鳥居忠政の妹を娶る 真室御前といわれる。

1614年慶長19.10:家康が諸大名に大坂出陣を命ずる。政盛は小田原城を守る 19.12 安良川八幡宮を修理、鳥居を寄進した。

1615年元和元4:家康が大坂再出陣を命ずる(大坂夏の陣)5月8日豊臣秀頼母、淀殿自害。この時、政盛は、江戸城の守備を命ぜられる。

1616年元和2年4.17:徳川家康 逝去 75歳 神としてまつられることになる。

1617年元和3.4.17:1周神忌が行なわれ、6月日光山に赴き、普請を手伝う。政盛が東照宮に。松岡領主戸沢右京の石灯籠を寄進。

1619年元和5年8月:大坂城番を命ぜられる。

1622年元和8年8月:新大阪城代 阿部正次と交代する。9.26 8月に最上義俊が改易となり、新庄に国替えの命令が下る。38歳。松岡領は、水戸領、棚倉領などになる。戸沢政盛は、出羽の国新庄藩6万石の藩主となる。

1648年慶安元。1月 逝去64歳

月 日	プログラム	担 当	11月 13日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
11月20日	50周年記念事業について	実行委員会			
11月27日	My ROTARY 活用促進	クラブ奉仕委員会	34	16	13
12月 4日	年次総会	会長・幹事	出席率 : 55.17%		
12月11日	半年回顧	会長・幹事・各委員長	前々週訂正 : 83.87%		

事務所: 〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX: 0293-24-0505

URL <https://www.takahagirc.jp>

E-Mail: takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長: 小森 勇一
幹 事: 今川 隆

例 会: 毎週水曜日 12:30~13:30

公共イメージ委員: 石平光 櫻井高志 石君平 鈴木直登
大河原浩 田所和雄 棚谷 稔 大高司郎

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになる

2. 戸沢政盛の生涯

戸沢氏は、平家の出で、平貞盛の末裔、岩手の滴石庄戸沢に土着して、戸沢氏となり、祖父道盛の代に角館城に移った。4万石。

政盛は、父盛安が鷹狩の際百性の娘に生ませた子で、母は、子連れで、東光坊という山伏に嫁いだ。ところが実父盛安は、1590年小田原参陣のときに病没、後を継いだ伯父の光盛も、1592年朝鮮出兵のため西上の途中病没、そこで家臣たちは、東光坊の元から、盛安の遺児を奪い、徳川家康の斡旋を得て秀吉にあわせ、政盛は、秀吉から旧領安堵の朱印状を受けた。(1593年)

その数奇な運命とともに、家を安泰にするため

(1) 童子山城の故地にお城を築いたが、名前は松岡城と改称した。これは、竜は戦いの声韻あり、松は千歳の名木で、城の形容としてあっている。

(2) 徳川家康に一番の忠臣であった、鳥居元忠の子、鳥居忠政の妹を正妻に迎える。病弱乱心気味だったとあるが、この縁組には御深意があったという。

(3) 実子があったのに、娘宮子に鳥居家より定盛を向かえ跡を継がせることとした。しかし、定盛は、1641年に17歳で逝去。

(4) その後、政盛は、実子千代鶴と会うことなく、定盛の子に養子を迎えようとした。そのため政盛が死後も3年間後継ぎが決まらずに過ぎた。に、周囲に大変な気配りをして生きた生涯であった。

3. 戦国に生きる戸沢氏

小さな戦国の武将が生き延びられた、世間を見る判断力はどこに起因するのか。

戸沢氏は、南部氏に追われて祖父戸沢道盛の頃に、秋田に退いたが、当時の東北には、有力な戦国大名が割拠していた。山形を領する最上氏、今の福島市や米沢市を地盤とする伊達氏、会津の黒川城にいる芦名氏、その南には、佐竹氏が北を狙って進出してきた。戸沢の東には南部氏、北には安東氏が勢力を競っていた。

こうした情勢の中で、父戸沢盛安は、豊臣秀吉に近づき小田原の戦いに参陣している。このあと政盛も家康の斡旋で秀吉に拝謁、所領を安堵されている。こうして家康との結びつきが強化されたものと考えられる。

4. 高萩地方

高萩地方は太田城の佐竹氏の支配下にあり、多珂郡といわれていた。

下手綱に童子山城を築いて、大塚氏がこの地方を支配することになったのは1430年頃とみられる。こうして、童子山にあって高萩地方を支配していた大塚氏は、佐竹氏に属さず、独立性があったようである。その大塚氏の家内騒動内紛に岩城平の岩城氏が介入し、1485年には、童子山城が攻められて、家来になった。

その後、太田の佐竹義舜は、一族の内紛で、山入氏によって大田城を取られてしまい、岩城氏の援助を乞い、山入氏を滅ぼした。

佐竹義舜は、その御礼として、北茨城と高萩、里美村以北を1502年岩城領として認めた。したがって、大塚氏は、1500年代は、岩城平の大館城の家来になっている。そのあと、岩城氏と佐竹氏は結婚によって親戚関係を強め、大塚氏は、佐竹氏、岩城氏の両家の重臣のような家臣待遇となる。

5. 佐竹義重よししげ・義宣よしのぶ

高萩地方の実質的な大名である、太田の舞鶴城の佐竹義重(1547-1612)、跡取りの義宣(1586年17歳で領主)は、小田原の北條氏の進出に対抗し、仙台から南進する伊達政宗に対抗して、奥州南部の大名と力をあわせて、領国支配を強化した。

そして、豊臣秀吉の命令で、小田原城の北条氏を攻める戦いに参戦する。1590年、この戦いに勝って、秀吉から所領を安堵され、水戸城の江戸重道を攻め、続いて府中城の大掾清幹を攻め、また、南方三十三館と言われた県南地方を壊滅する。

そして1591年天正19年水戸城に移り、常陸の国全体の領国経営を始める。1595年には、豊臣秀吉の田畑の土地調査、太閤検地が実施され、54万5800石が認められた。その結果、全国8位の大大名となった、そして石田光成との関係も強められた。だが、当時、福島地方で佐竹義重と対立した伊達政宗は、秀吉よりは家康に親しかった。佐竹は、秀吉の好誼を得て隆盛であったが、1598年秀吉が死んで、状況が急変する。

6. 佐竹氏と岩城氏

1590年豊臣秀吉の小田原合戦に参加して帰国の途中、岩城常隆は、24歳で夭折、佐竹の能化丸が8歳で養子となり、元服して岩城貞隆となる。(これが高萩地方の支配者)12万石の領主となった。

その後見役、あるいは監察の家臣として、植田城に梶原、岡本2名の家臣が派遣されている。これを植田の証人屋と称し、安良川村には岩城氏の家臣が駐在した。これを、「あいやの証人屋」(安良川 736 番地のあたり)と称した。

7. 関が原の戦い

まず、徳川家康が豊臣秀頼のために代行して政治をする。その内、会津若松の上杉景勝を攻める会津攻撃を仕掛ける。そして、1600年7月江戸城に戻った。福島に出陣した関東一番の大大名佐竹義宣(545800石)は、上杉氏との旧来の関係もあって、消極的で、弟、岩城氏を会津の戦いに参陣させなかった。家康は、この戦いに関して、佐竹義宣に赤館城にて守りを固めるとともに人質を差し出すよう命じた、義宣は従わなかった。上杉氏とも密約を交わしたとも言われる。石田三成は家康を挟み撃ちするチャンスと、西軍をまとめた。しかし、9月15日関が原の戦いで家康の軍が勝利し、西軍の総大将、石田三成は処刑、上杉家は120万石から米沢30万石へと改易となった。佐竹は、安心していたところ、慶長7年5月、結局秋田に国替えとなり、岩城氏は領地没収となった。翌8年秋田の久保田に、秋田佐竹藩がスタートした。

8. 磐城国の岩城氏

戦国時代、高萩地方の領主であった岩城氏は、平国香の系統の子孫で、常陸の国に勢力を持ち、後に岩城に移った武将である。

好間周辺の地頭をしていたが、足利時代1400年



代の前半に勢力を拡大し、文明年間1483年ごろに岩城常朝が、大館城(だいやかたとも称する)を築き、常陸の国にまで進出するようになった。後に親隆は、佐竹義舜に娘を娶らせ、義父に当たる。上はその古城の址の入り口。岩城常隆が急逝し、後を継いだのが、佐竹義宣の弟で、8歳だった。その時の人質の武士の屋敷として、あいやの証人屋敷がつけられた。

その岩城貞隆は、関ヶ原の戦いのときは23歳、家康によりお家断絶となる。大館城は中世の山城の形をよくとどめる、貴重な歴史遺産。平の街に入って国道6号を左折し、JR常磐線のご線橋を

過ぎ、49号線旧道を少し行ったところに入がある。以前は平の街、内郷の街、好間方面がよく見えたようであるが、今は木立が大きくなって、見晴らしはよくない。昔の風情をよく残している古城址である。

備考

このような歴史の関係があり、1989年平成元年、鈴木藤太市長の時代、4月27日新庄市と友好都市の盟約を調印した。

高萩ロータリークラブも当時鈴木修二会長年度で、1989年4月20日新庄ロータリークラブと友好提携をすることとした。

そして、次に、鈴木振年度となり、高萩まつりに合わせて、4名の方が来市、クラブでは、1989年7月29日、新庄ロータリークラブとの第1回親睦会が開催された。

そして夏休み、アドベンチャートラベル666が新庄市を訪問した。

<小森会長あいさつ>

先の日曜日、11月10日、浜菊の白い花が満開の高萩中学校武道場で、第35回ロータリークラブ少年柔道大会が柔道部員92名、審判の方、役員、26名が参加して開催された。年々、柔道をする子供たちが減少する中で、父母や仲間の声援を受けて熱戦を展開した。



色々な行事が立て込んでおりましたが、13名の会員の皆様、北茨城ロータリークラブからは、5名の皆様が参加していただきまして有難うございました。

熱心な父母の勧めと応援で、幼児期から中学まで、10年も柔道に親しみ、全国的レベルの、清水福虎君のような優れたレベルの中学生が日ごろの成果を発揮するかたわら、入団1か月という元気いっぱいの子どもたちもおおり、熱戦が展開された。

両ロータリークラブは、競技人口が減っている中で、子供たちと熱心な指導者、父母の期待を受けて、地元の柔道の発展に協力したいと願っているところです。

今後ともよろしく願いいたします。本日は茨城県民の日です。実は、1871年明治4年7月14日松岡県が誕生しました。その他川越県才丸村、若

森県花園村などもありましたが、県が多すぎるので統合し、11月13日、真壁郡、茨城郡、那珂郡、久慈郡、多賀郡を一つにして茨城県が誕生いたしました。今日はその松岡について、少しご説明をいたします。

<幹事報告>

第4回第一分区会長幹事会案内 12/7 ・ボランティア学習塾「寺子屋@高萩」助成金案内・2019年手続要覧日本語版が出版

<ご支援の御礼：田所和雄 会員>



<親睦委員会報告：鈴木国男 委員長>

第一分区チャリティG大会：11月30日（土曜）
組合せについて・3団体親睦ゴルフコンペ：12月19日（木曜）茨城パシフィックCC・忘年例会：12月25日（水曜）五浦大観荘

<青少年奉仕委員会報告：大河原浩 委員長>

柔道大会、ご協力ありがとうございました。11月8日金曜日パーソナリティと打合せ。FM 高萩の利用について。萩っ子英語プレゼンテーションポスター作成について。

<出席報告：大高司郎 会員>

茨城ロータリーEクラブ「認証伝達式」

Congratulations!!

11月9日、第2820地区初のEクラブ「茨城ロータリーEクラブ」の加盟認証伝達式・チャーターナイトに招待され出席しました。（Eクラブとは例会をオンラインで開くクラブであり、2010年6月30日より、正式に国際ロータリーの加盟クラブとなる）クラブのチャーターメンバー20名、平均年齢41歳（女性11名、男性9名）、2019年5月に米山記念奨学会学友会を中心に発足した新しいクラブです。当地区においては10年ぶりの新クラブ誕生となりました。



【メイクアップ】

11/9 茨城ロータリーEクラブ認証状伝達式
大高司郎

11/10 柔道大会

鈴木啓志、石川武信、沼田操、小森勇一、大高司郎、石君平、鈴木直登、大河原浩、今川 隆、岡田拓也、平野浩司、和田昌也

【ニコニコBOX】

大河原浩さん：柔道大会無事終了いたしました。たくさんの参加ありがとうございます。

小森勇一さん：第35回柔道大会、無事終了いたしました。たくさん参加していただきありがとうございました。田所さん、当選おめでとうございます。

大高司郎さん：11月17日、神戸で開催のメジャードナー午餐会に出席させていただきます。

花園文熙さん：柔道大会出席出来ず失礼いたしました。小森先生卓話楽しみです。

沼田操さん：会長、今日は松岡領主戸沢さんの話し楽しみです。よろしくお願ひします。

和田昌也さん：戸沢政盛の生涯の話楽しみです。

大平敏明さん：田所さん市議会議員選挙当選おめでとうございます。

石川武信さん：柔道大会お疲れ様でした。田所さんお目出とうございます。

田所和雄さん：皆様のあたたかいご支援のおかげで、市議会議員選挙4期目当選させていただきました。ありがとうございました。

石君平さん：小森会長、本日の卓話楽しみにしています。鈴木国男さん、石平光さん、今川隆さん、菱川健司さん、平野浩司さん

本日計：17,000円 累計：364,000円



多くの方からニコニコBOXへのご協力誠にありがとうございました



<ロータリー財団>

本日計 3,000円
累計 442,500円

<ポリオプラス>

本日計 0円
累計 31,940円

<米山記念奨学会>

本日計 3,000円
累計 194,560円